

# 平成20年度全国学力・学習状況調査【調査結果】 ー蓮田市の結果の概要についてー

蓮田市教育委員会

本調査によって測定できるのは、学力の特定の一部・一側面であり、全ての学力を表すものではありません。

このことを踏まえ、蓮田市の結果の概要についてお伝えします。

## 1 実施状況

(1) 実施期日 平成20年4月22日(火)

(2) 対象学年及び在籍数、調査人数

	小学校6年生(人)		中学校3年生(人)	
	在籍数	調査人数	在籍数	調査人数
国語 A	544	535	507	495
国語 B	544	535	507	495
算数・数学A	544	536	507	495
算数・数学B	544	535	507	494
児童生徒質問紙	544	535	507	493

## 2 学力・学習状況調査結果

(1) 教科に関する調査

全体的傾向	<ul style="list-style-type: none"> <li>20年度調査の特徴として、19年度と比べ、解答に当たってより正確な理解が必要な問題等が多く出題され、全体として19年度と比べてやや難しい内容になっている。しかし、ながら、ほぼ、全調査で国の平均を上まわる結果であった。</li> <li>全国及び埼玉県の数値と同様、知識に関する問題に対して活用に関する問題の正答率が低くなっており、昨年度に続き、知識の活用に関する課題があることが分かる。</li> </ul>
-------	---

### 【蓮田市と全国・埼玉県との比較の概要】

(平均正答率 単位%)

	小学校6年				中学校3年			
	国語		算数		国語		数学	
	A(知識)	B(活用)	A(知識)	B(活用)	A(知識)	B(活用)	A(知識)	B(活用)
蓮田市	69.3	53.1	74.3	53.4	74.3	64.2	62.4	49.4
埼玉県	66.2	51.8	72.3	52.5	73.2	61.1	61.1	47.8
全国	65.4	50.5	72.2	51.6	73.6	60.8	63.1	49.2

**【国語A（主として知識）】**

学年・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
<p><b>小学校6年生</b></p> <p>[問題数：18問]</p> <p>□全国・県の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は高い。</p>	<p>○学習した漢字を正しく読む。</p> <p>○文と文の意味のつながりを考え、接続語を使う。</p> <p>○目的や形式に応じて、文章を書き換える。</p>	<p>●学習した漢字を正しく書く。</p> <p>●スピーチでの聞き手にわかりやすい話し方を理解している。</p>
<p><b>中学校3年生</b></p> <p>[問題数：34問]</p> <p>□全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は高い。</p>	<p>○話し合いの方向をとらえて、適切な発言をする。</p> <p>○インタビューの目的に沿った質問をする。</p> <p>○文脈に即して漢字を正しく読む。</p> <p>○語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。</p> <p>○古文の中の文のまとまりをつかむ。</p> <p>○歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む。</p>	<p>●論理の展開の仕方に即して、内容を読み取る。</p> <p>●配列や配置に注意して、宛名や住所を書く。</p>

**【国語B（主として活用）】**

学年・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
<p><b>小学校6年生</b></p> <p>[問題数：12問]</p> <p>□全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は高い。</p>	<p>○インタビューの仕方や内容について評価した理由を書く。</p> <p>○物語文の冒頭部分における登場人物の特徴をとらえる。</p> <p>○物語文の場面についての描写を読み取る。</p>	<p>●「図書館便り」の文章やグラフから、目的に応じて必要な情報を取り出し、分かったことや自分の考えを明確に書く。</p>
<p><b>中学校3年生</b></p> <p>[問題数：10問]</p> <p>□全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は高い。</p>	<p>○文章の内容を正確にとらえる。</p> <p>○文章が書かれた目的を考え、表現の仕方の特徴をとらえる。</p> <p>○物語を読み、登場人物の人間関係や心情を読み</p>	<p>●別の資料に書かれている新しい情報を選び出し、条件にしたがって書き換える。</p> <p>●表現に注意しながら文章を読み、読み取った内容を条件に沿った表現</p>

	取る。 ○レポートの特徴や工夫を読み取る。	に直して書く。
--	--------------------------	---------

**【算数・数学A（主として知識）】**

学年・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
<b>小学校6年生</b> [問題数：19問] <input type="checkbox"/> 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は高い。	<input type="checkbox"/> 繰り下がりの減法や整数の乗法の計算をする。 <input type="checkbox"/> 商を分数で表す。 <input type="checkbox"/> 十進位取り記数法について理解している。 <input type="checkbox"/> ひし形、三角形の定義性を理解している。 <input type="checkbox"/> 平行四辺形の面積を求める。 <input type="checkbox"/> 円グラフを読む。	<input checked="" type="checkbox"/> 小数の計算における乗数と積の大きさ、除数と商の大きさの関係について理解している。 <input checked="" type="checkbox"/> 面積についての感覚を身に付けている。
<b>中学校3年生</b> [問題数：36問] <input type="checkbox"/> 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率はやや低い。	<input type="checkbox"/> 分数の減法の計算をする。 <input type="checkbox"/> 正の数と負の数の意味を実生活の場面に結び付けて理解している。 <input type="checkbox"/> 整式の加法と減法の計算をする。 <input type="checkbox"/> 簡単な連立二元一次方程式を解く。 <input type="checkbox"/> 一組の平行線に直線が交わってできる角の性質を理解している。 <input type="checkbox"/> 証明で用いられている平行線の性質を理解している。 <input type="checkbox"/> 樹形図の意味やその使い方を理解する。 <input type="checkbox"/> 事象の起こりうる確率を求める。 <input type="checkbox"/> 比例、反比例の意味を理解する。	<input checked="" type="checkbox"/> 等式を目的に合うように変形する。 <input checked="" type="checkbox"/> 指数を含む正負の計算をする。 <input checked="" type="checkbox"/> 文字式に数を代入して式の値を求める。 <input checked="" type="checkbox"/> 文字式の意味を具体的な事象と関連付けて読み取る。 <input checked="" type="checkbox"/> 点対称な図形を完成する。 <input checked="" type="checkbox"/> 円錐と円柱の体積を比較し、正しい図を選ぶ。 <input checked="" type="checkbox"/> Xの変域に対応する部分を、グラフ上に表現する。 <input checked="" type="checkbox"/> 一次関数のグラフを読み取ったり、表から式を求める。

**【算数・数学B（主として活用）】**

学年・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
<p><b>小学校6年生</b> [問題数：13問]</p> <p>□ 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は高い。</p>	<p>○ 開け閉めするドアの動きが、円の一部分であることを見出す。</p> <p>○ 比較量を求めるため必要な基準量と割合をグラフから情報を読み取る。</p> <p>○ 掃除当番表から規則性を読み取る。</p> <p>○ 学年ごとの身長を表した表から身長の伸びを棒グラフにする。</p>	<p>● 情報を整理選択し、筋道を立てて考えたり、示された解決方法を理解し、正しい理由や別の問題の解決方法を記述する。</p> <p>● 他者の考えが正しいかどうかを割合の考えを用いて判断し、その理由を記述する。</p>
<p><b>中学校3年生</b> [問題数：15問]</p> <p>□ 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率はやや高い。</p>	<p>○ 情報を読み取り、的確に処理する。</p> <p>○ 課題解決の方法を数学的に説明する。</p> <p>○ 三角形の合同を利用して証明する。</p>	<p>● 与えられた情報を分類整理する。</p> <p>● 事象を数学的に解釈し問題解決の方法を数学的に説明する。</p>

**(2) 児童・生徒質問紙調査（全国平均と比較して ○良好 △課題）**

<p><b>小学校6年生</b></p> <p><b>全体的傾向</b></p>	<p>○ 基本的な生活習慣の定着や国語、算数に対する意識と、教科に関する調査の正答率の間に関連が見られる。</p> <p>○ 携帯電話の使用時間、家庭学習をする時間、地域の行事への参加において、課題がある。</p> <p>○ 小・中の系統的な生活習慣や学習習慣の定着が課題であり、学校・家庭・地域社会の連携による取組が必要である。</p>
<p><b>具体的傾向</b></p> <p>全国平均と比較して ○良好 △課題</p>	<p>○ 学校に持っていくものを、前日かその日の朝に確かめている児童は、やや多い。</p> <p>○ 毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童は、やや多い。</p> <p>○ 毎日、同じくらいの時刻に起きている児童は、やや多い。</p> <p>○ 難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している児童は、やや多い。</p> <p>△ 自分には良いところがあると思っている児童は、やや少ない。</p> <p>○ 普段、早起きの児童が多い。</p> <p>○ 普段、早寝の児童が、やや多い。</p> <p>△ テレビやビデオ・DVDを見る時間は、やや多い。</p>

	<p>△テレビゲームをする時間は、やや多い。  ○インターネットをする時間は、やや少ない。  △携帯電話の使用時間は、やや多い。  ○家で学校の宿題をしている児童は、やや多い。  △家で学校の授業の復習をしている児童は、やや少ない。  ○新聞やニュースに関心のある児童は、やや多い。  ○今、住んでいる地域の歴史や自然に関心がある児童は、やや多い。  ○友達との約束を守っている児童は、やや多い。  ○近所の人に会ったときはあいさつをしている児童は、やや多い。  ○人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童は、やや多い。  ○総合的な学習の時間の授業では、新しいことが発見できると思う児童は、やや多い。  ○国語の勉強が好きな児童は、やや多い。  △読書が好きな児童は、やや少ない。  ○解答を文章で書く問題を、途中であきらめたり、全く解答しなかった児童は、やや少ない。  △算数の勉強が好きな児童は、やや少ない。  △算数の勉強が大切だと思う児童は、やや少ない。</p>
<p>中学校3年生  全体的傾向</p>	<p>○小学校と同様に、規則正しい生活習慣や学習習慣と、教科に関する調査の結果の間に大きな関連が認められる。  ○携帯電話の使用時間、家庭学習をする時間、地域の行事への参加において、課題がある。  ○小・中の系統的な生活習慣や学習習慣の定着が喫緊の課題であり、学校・家庭・地域社会の連携による取組が必要である。</p>

<p style="text-align: center;"><b>具体的傾向</b></p> <p>全国平均と比較して</p> <p>○良好</p> <p>△課題</p>	<p>○学校に持っていくものを、前日かその日の朝に確かめている生徒は、やや多い。</p> <p>○毎日、同じくらいの時刻に寝ている生徒は、やや多い。</p> <p>△自分には良いところがあると思っている生徒は、やや少ない。</p> <p>○普段、早起きの生徒はやや多い。</p> <p>△普段、夜遅くまで起きている生徒は、やや多い。</p> <p>△睡眠時間が少ない生徒は、やや多い。</p> <p>○テレビやビデオ・DVDを見る時間は、やや少ない。</p> <p>○テレビゲームをする時間は、やや少ない。</p> <p>△携帯電話の使用時間は、多い。</p> <p>○家庭学習をする時間は、やや多い。</p> <p>△読書時間は、やや少ない。</p> <p>△家で自分で計画を立てて勉強をしている生徒は、やや少ない。</p> <p>△普段、家の人と夕飯を一緒に取る生徒は、やや少ない。</p> <p>△家の手伝いをする生徒は、やや少ない。</p> <p>△家で学校の宿題をしている生徒は、やや少ない。</p> <p>△家で学校の授業の予習をしている生徒は、少ない。</p> <p>○学校で好きな授業がある生徒は、やや、多い。</p> <p>△今住んでいる地域の行事に参加している生徒は、やや少ない。</p> <p>△学校のきまりを守っていない生徒は、やや多い。</p> <p>○人の役に立つ人間になりたいと思う生徒は、多い。</p> <p>△総合的な学習の時間の勉強が好き生徒は、やや少ない。</p> <p>○総合的な学習の時間の授業では、新しいことが発見できると思う生徒は、やや多い。</p> <p>△テストで間違えた問題について、後で勉強している生徒は、やや少ない。</p> <p>△国語の勉強が好きな生徒は、やや少ない。</p> <p>○国語の勉強が大切だと思う生徒は、やや多い。</p> <p>○読書が好きな生徒は、やや多い。</p> <p>○数学ができるようになりたい生徒は、やや多い。</p>
--	---

### 3 今後の予定

<p>市教育委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校長会、教頭会等を通じて、先進的な取り組みや、国や県の最新の情報を提供し、各校の授業実践力の向上を図る。</li> <li>○教育支援担当訪問や校内授業研究会には、全指導主事が訪問し、きめ細やかな授業の実践について指導を行い、学校全体の指導力向上を図る。</li> <li>○臨時的任用教員、初任教員、2年次～4年次等の若手教員による授業研究会を実施し、「教えるプロ」としての研修を深め、確かな学力を育む指導力を養う。</li> </ul>
<p>各小・中学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自校の調査結果を分析・考察し、学校の教育活動や学習指導の改善に役立てる資料として活用していく。</li> <li>○授業中における学習規律を徹底するとともに、教科会や学年会を中心に学習指導法の工夫を行い、子どもたちに達成感を味わわせることができるような「分かる授業」を展開する。</li> <li>○指導者を招いた授業研究会を積極的に行い、教師一人ひとりの指導技術の向上を図る。</li> <li>○児童生徒のつまずきに対し、休み時間や放課後、長期休業等を利用して補修授業等（サマースクールを含む）を行い、個に応じた指導を展開し、苦手教科の克服に努める。</li> <li>○授業公開や保護者会、学校便り等を利用し、望ましい生活習慣や学習習慣の定着、地域の行事への参加等について、家庭や地域に積極的に働きかけ、三者の連携による教育を推進する。</li> <li>○個人面談等を利用して、学校の学習状況結果とともに個人調査の結果を配付し、児童・生徒一人ひとりの課題、つまずきや活用能力を、児童・生徒や保護者がしっかり捉えることができるよう、解決のための具体策を共に考え、指導に生かしていく。また、学力だけに目を向けるのではなく、生活習慣や家庭学習の仕方等、基本的な生活習慣を含めた教育のあり方を保護者と共に考え、家庭との連携方法についても検討していく。</li> </ul>

## 家庭・地域社会

- 家庭での過ごし方は、学力向上に大きな影響があることを理解し、わが子の生活習慣（携帯電話やテレビやテレビゲームの時間等）について改めて考えるとともに、その改善方法について、家庭でよく話し合う。
- わが子の学習面でのつまずきを把握するとともに、学校からのアドバイスをもとに、解決方法を家庭でよく話し合い、家庭学習を中心に取り組んでいく。
- 子どもの躰は家庭で行うことを自覚し、「早寝・早起き・朝ご飯」の実践をはじめ、挨拶や返事、翌日の学習準備等の基本的な生活習慣や、社会生活を営む上でのルールやマナーの育成等、家庭で教えるべきことに責任を持つ。
- 「地域の子どもたちは、地域で育てる」を合言葉に、家庭と地域の連携による清掃活動や奉仕活動等を実施し、子どもたちが「働くこと」や「お手伝い」を通して、地域の大人と共有する時間を設け、規範意識や勤労意欲を育んでいく。
- 「ノーテレビ、ノーゲーム、ノー携帯デー」の実施を検討し、推進していく。